

91. 近代史講座「近代日本のアジア政策」

本講義は、近代日本の政治・外交史について、その構造と展開を東アジアとの関連性から考察することを目的とする。近代日本の対朝鮮・中国政策を、両国との個別的関連性だけではなく、その政策を規定する国際関係、そしてその国際的動向を規定する地域社会の動向とを射程に入れながら、日本の对外膨張と戦争、植民地支配の問題を多角的に考察していきたい。

開催日： 金曜日 時間： 14時～16時 大阪歴史博物館 定員 80名

回	月	日	テーマ	内容	講師
1	9	4	国際関係史・比較史の視座と地域概念としての東アジア	国際関係史・比較史の視点を押さえるとともに、「東アジア」という地域概念を設定する意味を考察する。	小川原宏幸
2	9	25	東アジアの開港と日本の開国－世界史における日本の開国	ウェスタンインパクトに対する東アジア諸地域の対応はどのようなものであったかを考察する。	小川原宏幸
3	10	2	脱亜論とアジア主義	近代日本のアジア認識を規定した「脱亜論」と「アジア主義」とがどのように重なり合っていたのかを考察する。	小川原宏幸
4	10	23	日清戦争・日露戦争と日本の大陸膨張	近代日本の本格的な对外戦争である日清・日露戦争を東アジアの視点から再検討する。	小川原宏幸
5	10	30	第一次世界大戦と日本の中国侵略	辛亥革命後の中国に対する日本の眼差しがどのようなものであったのかを実際の対中政策と合わせて検討する。	小川原宏幸
6	11	6	東アジアの民族運動と日本	東アジアの民族運動のうち、朝鮮の事例を取り上げ、日本の近代化を再照射する。	小川原宏幸
7	11	27	大陸への軍事的膨張と植民地	日本の総力戦体制の展開過程と植民地支配との関連性を検討する。	小川原宏幸
8	12	4	「過去の清算」の課題と東アジア	戦後日本が東アジア諸国とどのようにかかわってきたのかを検討するとともに、今後の東アジアの国際関係を展望する。	小川原宏幸

2026.2.4改定